



大学と同窓会



青陵法律事務所代表

村山 弘義

1959(昭和34)年

人文学部社会科学科(法)卒

母校・新潟大学が来年、創立75周年を迎えますことを、心からお祝い申し上げます。今年は工学部が前身校から数えて100周年、農学部と同窓会も70周年をお迎えとのこと、誠におめでとうございます。私の出身の旧人文学部同窓会も、本年、発足から70年を迎えました。お慶びを申し上げ、今日の発展・充実に多大の寄与されました歴代同窓会長、本部・支部役員皆様方のご功勞に対し、心から敬意と感謝の意を表する次第です。

7期生の私は、同窓会在席63年になり、歴史のほとんどをカバーしており、その間、初代の首都圏支部長を務めたりしました。国の役人定年退官後、都内で法律事務所を構えた平成12年(2000年)、先輩から同窓会首都圏支部をつくりたいとの話が持ち込まれ、熱心な先輩・後輩皆さん多数の協力があり支部が発足したものです。

同窓会活動は、「母校のため、同窓会のため」という有志皆さんの献身的な尽力と熱意に支えられていることが心に刻まれました。

初期の頃の首都圏支部同窓会では、懇親会中締めで第二の校歌と言われる「四季の新潟」が合唱されるのが常で、この歌を若手同窓生にも知って貰うべく新潟出身有名歌手 小林幸子さんに依頼、コロムビアレコードからCDを出してもらって皆さんに頒布し、一緒に大声で歌ったことが懐かしく思い出されます。

この春、東京目黒美術館の「ベルギーと日本」と題する展覧会に、新潟大学所蔵品として私の寄贈した太田喜二郎画伯油絵「赤い日傘」が展示され、ベルギーで修業した同画伯代表作として紹介されていました。

下條文武大学長(当時)の下で、経営協議会委員としてお手伝いしていたとき、法科大学院を諸般の事情で閉鎖せざるを得ないという残念なことがあり、図書館で勉学に励む学生らの癒やしになればと考えて寄贈したのですが、思わぬところで新潟大学が脚光を浴びていました。

大学による優秀な人材育成と活発な同窓会活動は、言わば車の両輪の如きものと存じます。益々の発展と隆盛を心からお祈り致します。

略歴

弁護士 村山弘義

- 1937(昭和12)年生、新潟市出身。
- 1959(昭和34)年10月司法試験合格。1962(昭和37)年4月、司法修習(14期)修了、検事任官、検察庁・法務省勤務。札幌高等検察庁検事長、名古屋高等検察庁検事長を経て、1999(平成11)年6月、東京高等検察庁検事長、同年12月退官。
- 2000(平成12)年1月、弁護士(第一東京弁護士会)登録。青陵法律事務所創設。その後大手企業等の社外取締役、監査役、顧問、日本相撲協会理事長代行、副理事長など歴任。



旧校舎(1972(昭和47)年4月移転直前)

CONTENTS

i 巻頭言 大学と同窓会

ii~iii 人文・法・経済科学部同窓会70周年

iv~v 農学部同窓会70周年

vi ● もっと知りたい!大学カード ● 2022年度 全学同窓会雪華支援事業 ● 令和3年度 会計報告

vii ● 賛助会費について



人文・法・経済科学部同窓会 70周年を迎えて

高木 裕

人文・法・経済科学部同窓会(青松会)会長
人文学部 1973(昭和48)年卒

始めに、新潟大学の歴史の中で、新潟大学人文・法・経済科学部同窓会(青松会)が設立され、今日に至るまでを振り返ってみたいと思います。新潟大学人文学部(人文科学科と社会科学科の2学科)は1949(昭和24)年新潟大学開学と同時に設立され、それから4年後1953(昭和28)年人文学部第1期生が卒業し、早速、当時の人文科学科を中心に同期会が発足しました。これを出発点として、70年が経過しました。1972(昭和47)年には、校舎が西大畑地区から現在の五十嵐地区に移転し、1977(昭和52)年には人文学部は法文学部と改称、さらに1980(昭和55)年に改組し、人文学部、法学部、経済学部に分離・独立しました。



1972(昭和47)年4月移転当時人文校舎

本同総会は設立の歴史的経緯を踏まえ、三学部一体の同窓会として現在に至っております。この三学部誕生の機会に、1982(昭和57)年「新潟大学人文・法・経済学部同窓会」と名称変更を行いました。2000年代に入ると、同窓会支部もそれまでに設立された首都圏支部、長岡圏域支部に続き、東北支部、会津支部、山形県支部、秋田県支部、長野県支部、群馬県支部、福島県中央支部、栃木県支部と陸続と発足し、本同窓会交流活動の場も飛躍的に拡大しました。この支部設立に奔走されたのは、本同窓会の礎を

築き、圧倒的なエネルギーで同窓会を盛り立てて牽引してきた西大畑世代の諸先輩であり、その活動には敬意を示すしかありません。

さて、大学では2020(令和2)年4月、三学部の再編が行われ、経済学部は、人文社会総合型の学部生まれ変わり、名称も経済科学部と変更しました。それに合わせ、本同窓会も昨年「新潟大学人文・法・経済科学部(青松会)」を正式名称としました。人文学部、法学部、経済科学部には今後いっそう、豊かな地域社会の形成と国際化のニーズに寄与できる人材の育成を期待するものであります。

本同窓会は創立から70年たとうとしていますが、現在では、3万人という学内最大の卒業生を有する同窓会です。個人的なことになりますが、私が人文学部に入学したのは1969(昭和44)年です。西大畑と五十嵐の両キャンパスを経験した世代です。当時は五十嵐砂漠と言われたとおり、松林を抜けた先に砂地が広がり、所々にぼつんと大学の校舎だけが見えました。それから50年経過しました。いまでは、緑豊かなキャンパスが広がり、隔世の感があります。五十嵐キャンパスで育った世代が本同窓会活動を支え、主導する時代に入っています。大いに期待したいと思います。



人文社会学系棟 青松談話室

創立70周年に寄せて



内山 智絵 公認会計士・税理士
経済学部2009(平成21)年卒

この度は、人文・法・経済科学部同窓会(青松会)の創立70周年を迎えられたことを、心よりお祝い申し上げます。

私の学生時代は、公認会計士試験の勉強ばかりでしたが、在学中に人法経の校舎の入り口などが綺麗になり、1階の学生談話室も整備された時期だったように思います。図書館脇に新しくできたコンビニで夜食を買って、よく校内で勉強していました。当時、会計コースの先生や先輩方が会計研究会を発足され、資格試験勉強のための部屋をご用意頂きました。公認会計士や税理士を目指す方々と交流する機会を作って頂いたことを、とても感謝しています。その時に作った人脈が、卒業後10年以上経って、税理士として独立した今も、大変役にたっています。ビジネスチャンスはどこから生まれてくるかわからないので、同窓生などとの関わりもぜひ大切にしたいと思います。

今後、卒業生の一人として、学生の皆さんに公認会計士や税理士の魅力を伝えられる機会があったら、ぜひ積極的に伝えたいと思います。最後に、在校生及び卒業生の皆様のご活躍と、青松会のさらなるご発展を祈念しております。

青松会創立70周年に寄せて



曲田 尚貴 都内ITベンダー勤務
経済学部2018(平成30)年卒

青松会創立70周年、おめでとうございます。私が新潟大学を卒業してからの5年と、青松会の70年を比較して、「70年の歴史の重み」をひしひ

しと実感する次第です。

大学卒業後から東京に在住しておりますが、東京で新潟大学の卒業生と会う機会がほとんどありません。自らイベントを立ち上げ、東京で卒業生のつながりを作るようなことも行って参りました。卒業生に会うと話が盛り上がり、積極的に情報交換をしたりなど、新潟大学という共通の繋がりから、安心したり、助けられたりしたことも少なくありません。

様々なテクノロジーの進歩があり、10年前と今では生活様式も大きく変化しました。同窓会も時代の流れに沿って変わってきているのでしょうか。私は新潟の大学生や社会人と関わりをもって活動していますが、多くの方々が、卒業生も多い新潟大学の利点を最大限に活かせていないと感じています。

連絡先を知っているだけのつながりではなく、相互に励ましあい刺激しあう、そんな関係性を持てる同窓生がたくさんいらっしゃいます。同級生の横のつながりだけではなく、学部も年齢も居住地も超えた縦のつながりを、誰でも活用できるように同窓会に今後変化していくことを期待しております。

- 1959(昭和34)年10月 「新潟大学人文学部同窓会」創立総会(発会式)開催
初代会長 間島泰介(S28年人)氏
- 1960(昭和35)年10月 「新潟大学人文学部同窓会東京支部」設立
- 1966(昭和41)年10月 2代目会長 岩淵信一氏(S28年法)
- 1977(昭和52)年5月 人文学部が「法文学部」に改められた
- 1980(昭和55)年4月 法文学部が「人文学部」「法学部」「経済学部」の三学部に分離・改組された
- 1983(昭和58)年11月 会報「青い山脈」を創刊
- 1984(昭和59)年6月 2代目会長 岩淵信一氏急逝、会長代行に苅部浩二(S29年経)
- 1985(昭和60)年2月 3代目会長 苅部浩二氏(S29年経)選出
- 1986(昭和61)年7月 新しい会報「青松」を創刊
- 1988(昭和63)年6月 新潟大学人文・法・経済学部首都圏支部設立
- 1988(昭和63)年10月 同窓会創立35周年記念総会開催
- 1993(平成5)年6月 同窓会創立40周年記念総会開催
- 1995(平成7)年7月 長岡圏域同窓会設立
- 1999(平成11)年6月 新潟大学開学50年記念に同窓会が建立・寄贈した日展審査員・親松英治氏(両津市出身)の作品・モニュメント「勝利の像」が設置された
- 2000(平成12)年12月 4代目会長 柳本雄司氏(S38年経)選出
- 2003(平成15)年6月 同窓会創立50周年記念式典開催
- 2005(平成17)年4月 第1回青松賞懸賞論文募集開始
- 2006(平成18)年8月 東北支部設立
- 2007(平成19)年6月 会津支部設立
- 2007(平成19)年11月 山形県支部設立
- 2009(平成21)年6月 新潟大学開学60年記念に時計塔、青松談話室を寄贈
- 2010(平成22)年7月 5代目会長に磯部春昭氏(S40年法)選出
- 2010(平成22)年11月 秋田県支部設立
- 2011(平成23)年4月 同窓会奨学金制度スタート
(原資は特別会計から新潟大学基金へ拠出) 大学と同窓会役員で運営委員会を組織
- 2012(平成24)年12月 長野県支部設立
- 2013(平成25)年7月 同窓会創立60周年記念式典開催
- 2014(平成26)年11月 群馬県支部設立
- 2015(平成27)年5月 福島県中央支部設立
- 2016(平成28)年5月 栃木県支部設立
- 2016(平成28)年7月 6代目会長に田辺進二氏(S42年経)選出
- 2019(令和元)年7月 7代目会長に高木裕氏(S48年人文)選出
- 2020(令和2)年4月 経済学部は改組され、経済科学部と改称した
- 2020(令和2)年7月 同窓会の愛称「青松会」に決定
- 2022(令和4)年7月 同窓会の正式名称、新潟大学人文・法・経済科学部同窓会に変更
- 2023(令和5)年7月 同窓会創立70周年記念式典



新潟大学農学部同窓会 創立70周年を迎えるにあたって

渡辺 仁

農学部同窓会長 1977(昭和52)年卒



新潟大学農学部は、1949(昭和24)年前身の新潟県立農林専門学校を母体に、市内河渡(新潟市東区小金町地内)において、農学科・林学科・総合農学科の3学科で発足しました。その後、幾たびかの学科改組や五十嵐キャンパス(新潟市西区五十嵐)への移転を経て、2017(平成29)年に1学科5主専攻プログラム体制に移行し、理学部との学部横断型プログラムを新設する等、「生命」、「食料」、「環境」の教育研究を更に充実させて現在に至っております。

新潟大学では、世界初の学問領域「日本酒学」の創設を目的に、2017(平成29)年に新潟県及び新潟県酒造組合と連携協定を締結し、2018(平成30)年に3者の連携協定に基づき、新潟大学に日本で初めてとなる「日本酒学センター」を設置しました。このセンターの設置や運営、教育には農学部の教員が中心的な役割を果たすとともに、多くの教員が貢献しています。また、就職率は全学部の中でも高く、就職に強い学部として紹介されており、これまでに9,500余名の卒業生を輩出し、各分野で活躍しております。こうした母校の発展は、同窓生各位による農学部の教育実践・学術活動へのご理解とご支援の賜と衷心より感謝する次第です。

1953(昭和28)年に創立された同窓会の活動も少しずつ充実し、2013(平成25)年の創立60周年では、学部校舎の大規模改修に併せて、記念事業「同窓生と学生の思いを、未来へつなげる森づくり」をテーマに、あらたな「嵐丘庭」を学生と同窓生の協力で整備しま



した。成長した現在の「嵐丘庭」は、学部関係者はもとより地域住民にも親しまれ、癒しの場として利用されていると伺っております。しかし、10年が経過し植樹した樹木も大きくなり、設置された木道も経年劣化が否めず、関係者からは、今後の維持管理を見据えた再整備の要望が出されております。

この度、農学部同窓会創立70周年を迎えるにあたり、日本酒にまつわる記念講演や記念誌作成及び「嵐丘庭」の再整備を中心とした記念事業を計画しております。同窓生各位におかれましては、趣旨をご理解いただきご協力を賜りますようお願い申し上げます。



【創立70周年記念事業の内容】

- 記念式典及び記念講演会の開催
- 記念誌の作成
- 「嵐丘庭」の再整備



同窓会創立70年を祝して

伊藤 忠雄 新潟大学名誉教授
1967(昭和42)年卒

農学部同窓会の創立70周年おめでとうございます。同窓会設立から今日に至るまで、会の運営に携わってこられた先輩各位ならびに同窓生諸氏に深く敬意を表します。

私は飯豊の山脈を臨む河渡キャンパス時代に卒業した者ですが、以来この母校で40年余りを同窓生と教員という二つの立場で、国内外での同窓生皆様の活躍ぶりや会の活動を頼もしく拝見してきました。

会の活動も私が幹事長を仰せつかっていた当時と較べ、支部組織の全国拡充や学部の教育研究活動への支援、「嵐丘庭」の寄贈等、格段に充実していることを大変嬉しく思います。

農学部は五十嵐地区に移って半世紀になりますが、移転当初から校舎はキャンパスのほぼ中央の位置にあります。これは文系、理系、医歯学系等の枠を越え、総合大学の中軸として発展することを期待して設計されているように思われます。いま日本はロシアのウクライナ侵攻や気候変動等に起因する食料安全保障上の危機に直面し、国内生産基盤の強化による食料の安定供給が大きな課題となっています。日本の穀倉地帯・新潟の地で共に農学を学んだ同窓生への期待が高まっています。

新潟大学農学部の卒業生は、この春(2023(令和5)年3月)9,677人に達し、間もなく1万人の大台を超えます。これを機に、同窓会の活動がさらに大きく躍動しますとともに、会員皆様のご健勝とご活躍を祈念し、お祝いにかえます。



70周年に寄せて

西村 元貴 俳優 2012(平成24)年卒

農学部同窓会創立70周年、誠におめでとうございます。

私は実家が農業を営んでいることもあり、2008(平成20)年に農業生産科学科に入学しました。3年次からは農業経営を専門とする研究室で西洋梨(ルレクチェ)の販売促進について学び、研究室のメンバーとの交流も大変充実していました。

しかしある時、学部の先輩からのお誘いでモデルのお仕事をさせていただき、そのことがきっかけで、自分の体と心で表現することの面白さの虜になり、俳優の道を志すようになりました。農業分野とはまったくかけ離れた道に進むと決めた当時は不安もありましたが、研究室の教授や友人たちが背中を押してくれたことでよりいっそう決意が固まりました。そのおかげで今の自分があると思っています。そのような素晴らしい出会いがあった母校でのキャンパスライフは人生におけるターニングポイントであり、一生の宝ものです。

現在私は、地元新潟県加茂市のPR大使をさせていただいております。今後も加茂市にとどまらず、新潟の魅力を全国にアピールすることで、微力ながら母校に恩返ししていけたら嬉しい限りです。最後に、卒業生・修了生の益々のご活躍と農学部同窓会のご発展を祈念しております。

沿革

- 1949(昭和24)年
新潟大学開学・農学部発足(6月1日)
- 1953(昭和28)年
第1回卒業生誕生(50名)
同窓会の創立、会則制定、初代会長 伊藤 武夫 農学部長
- 1974(昭和49)年
新潟市五十嵐に新校舎完成、河渡より移転(7月1日)
嵐丘庭造成
役員改選 会長 江畑 正(第1回生 昭28農)
- 1987(昭和62)年
同窓会創立35周年記念事業開催(8月22日)
(記念講演、記念誌「松涛特集号」発行、絵画の寄贈、祝賀会等)
- 1989(平成元年)
特別会員として新潟農林専門学校卒業生(314名)加入
- 1990(平成2)年
同窓会事務室を学部に新設
役員改選 会長 江畑 正
- 1992(平成4)年
役員改選 会長 小林 一三(第6回生 昭33林)
- 1993(平成5)年
村松農場農専記念碑の移転完了、事務局及び事業執行体制の整備
- 1996(平成8)年
役員改選 会長 小林 一三
- 2000(平成12)年
役員改選 会長 小林 一三
- 2002(平成14)年
同窓会創立50周年記念事業開催(9月14日)
(記念講演、「松涛」創立50周年記念号発行、祝賀会、募金等)
- 2004(平成16)年
役員改選 会長 小林 一三
- 2008(平成20)年
役員改選 会長 進藤 隆(第14回生 昭41農)
- 2011(平成23)年
同窓会新潟県支部が発足(24年1月28日)
- 2012(平成24)年
役員改選 会長 進藤 隆
- 2013(平成25)年
同窓会創立60周年記念事業開催(6月8日)
・式典、記念講演(於：新潟大学附属図書館ライブラリーホール)
・祝賀会(於：ホテルオークラ新潟)
・松涛30号「創刊～創立60周年記念号」までの復刻版発行
・記念CD発行(農学部学生歌、新潟大学学生歌、四季の新潟など収録)
・校舎の耐震改修工事に伴い取り壊された「嵐丘庭」の復元、銘板設置
・同窓会功労者へ感謝状贈呈
- 2016(平成28)年
役員改選 会長 渡辺 仁(第25回生 昭52農工)
- 2020(令和2)年
役員改選 会長 渡辺 仁(再任)

未来の**水土里**を創造する
夢ある地域のプロデューサー

新潟県土地改良事業団体連合会
〒950-8718 新潟市中央区長潟138 TEL 025-286-1111 FAX 025-286-2521
ホームページ <http://www.doren-nigata.or.jp>

もっと知りたい!大学カード



新潟大学全学同窓会 新潟大学カード



Q このカードの入会金や年会費について教えてください。

A 入会金や年会費はありません。**無料**です。本人の家族であれば何人でも無料で家族会員として加入できます。ETCカードも無料で発行されます。

Q 入会の条件はありますか？

A 新潟大学の**卒業生及び修了生**、新潟大学の**教職員(OBを含む)**であれば、**どなたでも入会**できます。

Q このカードに特典はありますか。

A 三菱UFJニコスと提携したVISA国際カード(ゴールドカード)であり、次のような**特典**があります。

特典の例

- 国内・海外旅行損害保険(最高3,000万円の補償)が付帯しています。国内旅行の場合は航空券や乗車券、宿泊料金などの利用代金を事前にカードでお支払いいただくことが条件です。
- カードで購入された品物の破損、盗難等の損害は年間最高200万円まで補償されます(ショッピング保険)
- 国内主要空港及び、ダニエル・K・イノウエ国際空港(ホノルル)の空港ラウンジを無料で利用できます。
- このほかにも期間限定のお得なキャンペーンや旅行やショッピングのおすすめ情報が得られます。

Q カードの利用でたまるポイントについて教えてください。

A 利用金額**1,000円ごとに1ポイント(5円相当)**の付与があります(グローバルポイント)。ポイントの有効期限は獲得月から24ヵ月です。

月間の利用金額に応じてグローバルPLUSが適用されます。3万円以上10万円未満の場合、ポイントが20%加算されます。10万円以上の場合、ポイントは50%加算されます。

Q たまったポイントの利用方法は？

A ポイント数に応じて、さまざまな**商品に交換**できます。Pontaポイント、楽天ポイント、T-point、nanaco、WAONポイント、JALマイレージバンク、dポイント等の**他のポイントサービスへの移行**もできます。

2022年度全学同窓会雪華支援事業

皆様からの賛助会費を原資とする公募型の支援事業です。令和4年度は、単年度型(A)21件を採択し、総額269万円を助成しました。

雪華支援事業(A)

オリエンテーリング部	全国大会入賞をめざしたトレーニング機材の更新・整備
合唱団	全日本合唱コンクール大会出場及び定期演奏会に向けた活動の充実
管弦楽団	新潟の音楽文化への貢献:第59回定期演奏会の開催
基礎スキー部	全国大会入賞をめざした練習の実践による社会的人材力の育成
競技スキー部	全国大会優勝・入賞及びインカレ昇格に向けての実践練習の強化
競技ダンス部	各種大会での上位入賞に向けた技術向上のための活動の強化
剣道部	第64回北信越学生剣道優勝大会新潟開催の主管
硬式庭球部	全国大会出場を目指しての練習機材の更新
硬式野球部	関甲信学生野球連盟1部リーグを闘い抜く
自転車競技部	全日本大学対抗自転車競技大会(インカレ)等全国大会への出場及び結果を残すための強化活動
吹奏楽部	訪問演奏、コンクール及び定演に向けた、コロナ禍における練習の円滑な推進
卓球部	各種大会上位進出に向けた練習強化及び各種大会主催事業活動
探検部	大自然の中で行うラフティング、サイクリング、登山、ロッククライミングに使用する部の装備の更新
鉄道研究部	新潟大学鉄道研究部創部40周年記念貸切列車運行・記念誌・記念品の作成
バレーボール部	インカレ出場および各種大会での活躍に向けての活動強化
ハンドボール部	東日本インカレ、北信越リーグに向けた活動の充実および部活動の発展
ボート部	艇庫整備による練習環境の向上
ランニングクラブ	練習会開催による走力、心身の鍛錬
ヨット部	全国大会での成績向上と選手育成のための活動の強化
附属図書館(中央図書館)	読書活動推進のための海外文学図書の新規拡充
附属図書館(旭町分館)	教養図書(一般書)と関病記文庫の新規拡充

令和3年度会計報告 (令和3年4月1日~令和4年3月31日)

令和4年度第1回全学同窓会理事会(6月27日)において3年度一般会計の監査結果報告が行われました。審議の結果、承認されました。

費目	予算額(円)	実績(円)
繰越金	3,577,033	3,577,033
賦課金	270,000	270,000
分担金	5,000,000	5,000,000
協賛金	1,700,000	1,824,000
一般広告掲載	200,000	100,000
賛助会費	4,000,000	4,528,000
受取利息	15	29
合計	14,747,048	15,299,062

費目	予算額(円)	実績(円)
大学等支援費	100,000	62,000
雪華支援事業	3,500,000	2,340,000
周年事業基金	2,000,000	2,000,000
広報紙	2,000,000	1,797,950
会員等サービス事業	500,000	447,681
交流会事業	100,000	99,000
事務局費	5,080,000	4,727,780
予備費	1,467,048	0
小計	14,747,048	11,474,411
次年度繰越金	0	3,824,651
合計	14,747,048	15,299,062

※学生支援事業費については、コロナ禍による行事の中止決定に伴い、予算の計上を見送りとした。

Q 今後、サービスの変更はありますか？

A このカード事業は「新潟大学の卒業生」という「信用」で成り立っています。この「信用」によって、新潟大学カード（ゴールドカード）を発行することができました。

また、入会されたみなさまのカード利用の**実績が良好**なため、入会金・年会費の**無料の条件を維持**できています。

今後も**サービス充実**のため、引き続きみなさまの**積極的なカード利用**をお願いいたします。

Q なぜ全学同窓会はカード事業を行っているのでしょうか？

A 母校である**新潟大学や在校生の活動を支援**するためです。カード入会のお誘い・宣伝活動、入会手続きの窓口業務など、本来はカード会社が行う業務の一部を全学同窓会が負担することによって、カード会社から全学同窓会へ提携手数料が還元されます。みなさまが入会されて、**カードをご利用**いただくと提携手数料による収益も増加しますので、大学への**支援も充実**するというシステムです。ご理解ご協力をお願いいたします。

Q 入会する方法を教えてください。

A 「新潟大学カード入会申込書」を「全学同窓会事務局」又は「卒業した学部同窓会事務局」までご請求ください。詳しいことは、**下記のHP**をご覧ください。https://www.niigata-u-dousou.jp/card/

入会のお問い合わせは、全学同窓会事務局までメールでのご連絡が便利です。

新潟大学全学同窓会事務局：E-mail n-doso@adm.niigata-u.ac.jp

賛助会費について

全学同窓会は、新潟大学の全同窓生及び教職員（OB含む）を会員とし、各種の事業（広報紙「雪華」の発行、雪華支援事業、新潟大学との交流事業及び支援事業など）に取り組んでいます。その財源は、会員の皆さまからの賛助会費であり、全学同窓会の事業はその善意によって支えられています。

今後も全学同窓会の目的に即した同窓会運営と事業活動に邁進してまいります。

会員の皆さまからのご協力をお願いいたします。

賛助会費の納入方法

賛助会費は、次の方法でお納めいただけます。
1口2,000円をお願いしています。

1.口座振替による方法

毎年1回（1口に限り）、ご指定の口座から引落しさせていただきます。

ご希望の場合は、「預金口座振替依頼書」を事務局までご請求ください。

2.郵便局からの振込みによる方法

郵便局から「払込取扱票」により、振込いただけます。「払込取扱票（払込手数料加入者負担）」が必要な場合は、事務局までご請求ください。

3.QRコード決済（クレジットカード払い）による方法

スマートフォンでQRコードを読み込み、必要な情報を入力して決済できます。

QRコード決済はこちらから▶



私たちは新潟大学を応援しています

令和4年度 協賛企業・団体 ※匿名希望3社1団体

アートホテル新潟駅前、株式会社アステック、株式会社アヅマテクノス、株式会社磯部ハイテック、株式会社宇都宮製作所、エアプラック株式会社、ANA クラウンプラザホテル新潟、越後長野温泉嵐溪荘、金井度量衡株式会社、株式会社考古堂書店、株式会社コロナ、サトウ食品株式会社、株式会社サンケイ情報ファシリティ、しなの薬局グループ（(株)エーアンドエム）、株式会社新宣、進展工業株式会社、株式会社ソーゴ、相互技術株式会社、株式会社大光銀行、ダイヤモンド電子株式会社、医療法人高田西城会、一般財団法人竹田健康財団竹田総合病院、田辺建設株式会社、中越運送株式会社、医療法人奏心会とびた眼科、株式会社新潟クボタ、新潟県信用組合、新潟県土地改良事業団体連合会、新潟信用金庫、新潟精密株式会社、新潟大学生生活協同組合、社会医療法人新潟臨港保健会新潟臨港病院、日東アリマン株式会社、日本精機株式会社 NS 悠久会、株式会社パイオニア、株式会社博進堂、株式会社畠山種苗園、株式会社ひらせいホームセンター、新潟税理士法人深滝合同事務所、株式会社福田組、富士印刷株式会社、藤木鉄工株式会社、株式会社不二産業、北越工業株式会社、株式会社リンコーコーポレーション

敬称略（五十音順）

全学同窓会ホームページ上でキャリア情報（中途採用）を掲載しています

新潟大学からのお知らせ

2024年、新潟大学は
創立75周年を迎えます

新潟大学は、1949年に新制の国立大学として設置され、2024年に創立75周年を迎えます。

創立75周年を記念する事業の一つとして、「キャッチコピー」及び「ロゴマーク」の公募を行い、キャッチコピーは495作品、ロゴマークは67作品の応募の中から、それぞれ最優秀賞1作品を決定いたしました。

今後行う創立75周年の各種記念事業、学内外の広報に使用する予定です。

新潟大学は、未来のライフ・イノベーションのフロントランナーを目指し、これからも前進してまいりますので、今後とも温かいご支援をお願いいたします。



▲75周年記念ロゴマーク

新たな挑戦 大きな貢献

▲75周年記念キャッチコピー

“日本一”の医師育成拠点創設基金
ご支援のお願い

新潟大学医学部は新潟県と連携し、令和5年度から入学定員を全国最多となる140人(地域枠40人含む)に拡充し、同時に、教育の質の向上も図りながら「社会から求められる医療人」を育成する“日本一”の医療人育成拠点になることを目指してまいります。高度専門医の育成に加え、総合診療能力や社会医学的素養を持ち、どの地域でも活躍できる医師を育成するため、以下について重点的に取り組みます。

- ・地域マインドをもって、地域社会の声・ニーズに対応できる医師の育成
- ・総合診療能力や社会医学的スキルを活用して、社会を支える能力をもつ医師の育成
- ・医学部が、地域社会の声を活かした医学教育を展開し、地域から信頼を得て、その支援を人材育成に活かす体制の構築

これらの実現に向けた教育環境の整備・強化のために、この度、「日本一」の医師育成拠点創設基金を設置して、広くご支援を募ることにいたしました。本基金を有効に活用し、激動する社会変革に対応し、地域に貢献できる医療人育成に継続して取り組み、様々な医療課題の解決に努めてまいります。本学医学部の更なるチャレンジにご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



新潟大学全学同窓会

事務局：〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地
TEL 025-262-7891 FAX 025-262-7892
E-mail dosojimu@adm.niigata-u.ac.jp
<https://www.niigata-u-dousou.jp/>

新潟大学全学同窓会からのお知らせ

新潟大学・全学同窓会交流会

- 日時：令和5年10月21日(土) 15:30～
- 会場：ANAクラウンプラザホテル新潟 3F「飛翔」
(新潟市中央区万代5-11-20)

【講演会】15:30～17:00 【入場無料】

演題／『ドナルド・マクドナルド・ハウス
にいがたについて』

講師／稲川 欣也 氏
(にいがたハウス ハウスマネージャー)

●プロフィール●

1977年新潟県長岡市出身。明治学院大学経済学部卒業。2021年公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン入職。なごやハウスを経て、2022年ににいがたハウスハウスマネージャー就任。



講演の抄録

病気のお子さんをもつご家族は、絶えず不安な日々を送っています。さらに治療する病院が自宅から遠く離れている場合、付添うご家族にとって自宅との二重生活による経済的負担やご家族と離れて生活する精神的負担が大きくなります。ドナルド・マクドナルド・ハウスはこのような負担を少しでも軽減できるよう、病気のお子さんとそのご家族が利用できる滞在施設です。ハウスの運営は100%、企業や個人からのご寄付・ご支援で成り立っており、ご家族はお一人1日1,000円で滞在が可能です。また日々の運営もボランティアさんに支えられており、「にいがたハウス」ではその数約200名。ボランティアさんからご利用者さんへのお声かけは自宅に帰ってきたかのように感じる、温かいハウスとなっています。

大学研究室から

演題／『小児患者の自立支援-自己開示の大切さ-』

講師／住吉 智子 氏(新潟大学医学部保健学科教授)

【懇親会】17:15～18:45

定員200名(先着順)

会費／5,000円

締め切り：令和5年10月12日(木)

申込先：新潟大学全学同窓会事務局

TEL 025-262-7891 FAX 025-262-7892
E-mail dosojimu@adm.niigata-u.ac.jp

運営委員会広報部より：2023(令和5)年度から“コロナ前”と同様に授業が実施されるようになりました。キャンパスは大勢の学生たちであふれ、活気を取り戻しています。来年(2024(令和6)年)には、母校新潟大学が創立75周年を迎えます。2004(平成16)年の国立大学の法人化からも20年の節目となります。本号では、紙面の制約もあって、あいにく旭町キャンパスの話題を取り上げられませんでした。次号は母校の75周年記念でもありますので、バランスの取れた記事で紙面を構成したいと存じます。